



国土交通省
東北地方整備局
山形河川国道事務所



事務所長 和田賢哉 さん

状況となっています。
今回東北中央自動車道延長約268kmの全区間が事業化。高速道路が広がり、インバウンド観光の促進や物流効率化、新たな企業立地や商圏の拡大などが期待されます。

事業実施状況と今年度の予定
新庄市より北側では、南から泉田道路・新庄金山道路・金山道路・真室川雄勝道路の4カ所の事業を進めています。

泉田道路は、道路が開通するまでにかかる総事業費の約27%が完了しており、用地も95%は取得している状況です。また、新庄金山道路は、総事業費の約3%、用地の取得は10%となっています。昨年度から用地買収に着手しており、今年度から一部区間の工事を予定。金山道路と真

室川雄勝道路は、道路設計などの調査を予定しています。

縦軸・横軸の道路整備と新庄最上地域への影響
新庄最上地域は、縦軸の国道13号や東北中央自動車道と、横軸の国道47号や地域高規格道路の新庄酒田道路が交差する地点。庄内地方や村山地方、秋田県や宮城県との交流・連携を推進する重要な地域です。

縦軸の東北中央自動車道は、大石田村山く尾花沢間が4月15日に開通し、さらに東根く東根北や南陽高島く山形上山など、続々と開通が予定されています。また、横軸の新庄酒田道路では、3月に余目酒田道路が開通し、今年度は新庄古口道路の一部区間が開通する予定。縦軸・横軸ともに整備が進んでおり、地域間交

流の促進が期待されます。

道路の整備により、魅力ある観光資源を活かした交流人口の拡大や交通ネットワークを活かした企業活動の促進など、新庄最上地域の振興が期待されます。

道路がつながるといふこと
人々の生活に道路は欠かすことができません。日常生活や生産活動を支える重要な社会基盤であり、地域間の連携・交流を促進する空間です。高速道路などの道路は、造ることが目的ではなく、その道路を地域全体がどのように活用し、どんな地域にしていきたいか、そこに住む地域の人々が主役となり、行動することが重要です。道路がつながることとひろがる可能性を、みなさんとともに考えていきたいと思っています。

つながる道路 ひろがる可能性

3月30日、東北中央自動車道「金山道路」の新規事業化が発表され、全線開通へ向け、大きく前進しました。開通後は、移動時間の短縮はもちろん、インバウンド観光の促進や物流の効率化が図られるなど、新庄最上地域でも波及効果が期待されます。

人々の生活に欠かすことのできない道路。今回の東北中央自動車道の全線整備着手を受け、改めて道路がつながる意義を考えます。

今回は、東北中央自動車道の沿線上にある真室川町、金山町、新庄市、舟形町が共同で特集をします。



山形河川国道事務所のお仕事
山形河川国道事務所では、一級河川である最上川および一般国道5路線、東北中央自動車道の整備や管理を主な業務としています。

河川においては、自然を守りながら、洪水による被害を減らし、川と人との良い関係でいられるように取り組みんでいます。

また、道路においては、今回新規事業化が決定した金山道路をはじめとする東北中央自動車道の各区間の整備はもちろん、すでに供用している道路の維持管理も重要な業務となります。

道路がつながること期待される効果
新庄最上地域の国道13号は、幅が狭く、冬期は豪雪に伴う運搬排雪作業や路面凍結による交通事故などにより、交通規制が多く発生します。

そのため、移動時間の遅れが生じ、通勤・通学や主要産業である農林業などの物流を阻害しています。

冬期間の事故などによる通行止めの際には、代替路がないことも問題です。例えば新庄市から秋田県湯沢市へ向かう場合、通常59kmのところ、115kmと約2倍の迂回を強いられるなど、社会経済活動への影響が大きい

東北中央 自動車道の歴史

TOHOKU-CHUO EXPWY HISTORY

東北中央自動車道は、その前身ともいえる羽州街道（青森―秋田―山形―福島）や栗子（米沢―福島間）の「万世大路」から始まります。

Meiji
明治

明治
14
年

万世大路の栗子隧道（米沢―福島間のトンネル）は明治14年に開通。延長は約876mあり、当時の日本では最長のトンネルでした。この頃は、人馬が通ることを想定した道路でした。



▲明治14年に開通した初代栗子隧道米沢側坑口

明治
18
年

江戸時代から続く羽州街道は、栗子隧道開通を受け、上山から先は万世大路を通るルートへと変更されました。その後、順次改修が進み、明治18年に国道として扱われるようになりました。

Showa
昭和

昭和
12
年

道路が改築されたことで、万世大路は昭和12年に車が通れるようになりました。しかし、冬の積雪3mを除雪することは、当時としてはまだ難しく、冬期5ヵ月は交通不能となっていました。

昭和
27
年

新道路法が制定され、山形を縦断する秋田市―福島市間の道路が国道13号となりました。

昭和
59
年

昭和59年以降、横手南バイパス、湯沢バイパス、尾花沢新庄道路の順で事業化がなされました。